

おもしろ美術講座

長野県信濃美術館との連携事業として、美術講座を開催いたします。信濃美術館学芸員がスライドや印刷資料を使いながら、芸術家の作品とその生涯、美術の歴史などをわかりやすく説明する講座です。

入場無料

※人数把握のため事前予約をお願いいたします。

絵画で旅するドイツ

- 東山魁夷、心の旅路 -

(担当：高田紫帆)

7月18日(月・祝) 14:00 (開場13:30)

松本文化会館国際会議室



東山魁夷《静かな町》取材地：ドイツ・ヴィムブヘン
1971年 長野県信濃美術館 東山魁夷館蔵

《緑響く》や《静映》など、信州の風景を作品としたことでも有名な日本画家・東山魁夷(1908～1999)。生涯、各地を旅して数多くの風景画を残した画家ですが、若き日の1933～34年、2年間にわたりベルリンへ留学したのを機に、ドイツを「第2の故郷」と呼び、度々訪れていた事実は、意外と知られていないのではないのでしょうか。

今回のおもしろ美術講座では、日本とドイツの交流150周年を迎える本年にちなみ開催される、長野県信濃美術館 東山魁夷館「ドイツ・心の旅路」展(常設展Ⅲ期：7月28日～9月27日)に先立ち、「絵画で旅するドイツ—東山魁夷、心の旅路—」と題して、展示担当学芸員が、所蔵コレクションを中心に、ドイツとゆかりの深い東山魁夷の画業をご紹介します。

日本画家を目指していた東山が、何故ドイツに強く心惹かれたのか? 戦前の海外留学はどのような様子だったのか? 作品として描かれた場所はどこ? など、展示ではなかなか解説しきれない話題も交え、東山魁夷が描いたドイツにまつわる作品をスライドでお見せしながらお話する予定です。

美術ファン、旅行ファンに限らず、幅広い方々のご参加をお待ちしております。

菱田春草

- 新たなる日本画への挑戦 -

9月15日(木)

14:00 (開場13:30)

(担当：渡辺美保)

松本文化会館国際会議室

近代の日本美術史において、燦然と名を輝かす日本画家・菱田春草(1874-1911)。東京美術学校時代から日本美術院時代を通じ、岡倉天心の指導のもと、横山大観や下村観山、西郷孤月らとともに、それまでの伝統にとらわれない、新たな日本画の創造を目指しました。

2011(平成23)年は、春草の没後100年にあたります。この没後100年を記念し、長野県信濃美術館では今秋、朦朧体期の作品を中心に、約100点の作品を展示する「没後100年 菱田春草展」を開催します。

おもしろ美術講座では、この展覧会をさらに楽しんでいただくために、朦朧体期とそれ以後に描かれた作品を、スライドを使って比較しながら、現在では日本画の大胆な革新的行為とみなされながら、当時多くの批判の的になった朦朧体と呼ばれる描法について、その誕生までの道のりと展開を、あらためて考えます。



菱田春草《羅浮仙》

1901年頃 長野県信濃美術館蔵

お問い合わせ・お申し込み先 長野県松本文化会館 TEL 0263-34-7100 E-mail:jigyo@matsubun.jp

【主催】(財)長野県文化振興事業団(長野県信濃美術館 東山魁夷館・長野県松本文化会館)・長野県・長野県教育委員会